

## 第6回水道ビジョン検討会 議事概要

1. 日 時：平成 15 年 12 月 19 日（金）11:00～14:30
2. 場 所：経済産業省別館 1111 号会議室
3. 出席委員：  
赤川委員、足立委員、磐城委員、小笠原委員、小島委員、末吉委員、眞柄委員、  
藤原委員、前田委員、水谷委員、和田委員
4. 議事次第
  - (1) 第5回検討会の議事概要について
  - (2) 関係団体ヒアリング
  - (3) 水道ビジョンスケルトン（案）について
  - (4) その他

### 5. 議事概要

- (1) 第5回検討会の議事概要について  
事務局から提出された資料について確認した。
- (2) 関係団体ヒアリング  
各団体から提出された資料等についての説明を受け、質疑を行った。
- (3) 水道ビジョンスケルトン（案）について  
事務局から提出された資料について説明、資料に関する質疑および議論がなされた。  
その主な意見は以下のとおりである。
  - ・ 政策目標に、適正価格の設定、料金格差是正などの料金政策がほしい。
  - ・ 官民のパートナーシップは、住民を含む概念なので、使い分けが必要である。
  - ・ 「総合的な水道政策の推進」に、総合水管理の重要性をうたえないか。
  - ・ 水質基準改定時の積み残し課題であるが、「ヘルスリスク」と「利便性」が同じ扱いでよいか検討すべきである。事業者により地域差があるので、両者の使い分けが必要である。
  - ・ リスク面から国民の健康に関する（規制的）事項と水道施設の持続性に関する事項との二面性に分けて組み立ててはどうか。
  - ・ 「政策ツール」の例について、「事後評価」は、規制軸でなく評価軸に入れたほうがよい。

評価基準と評価者が重要である。

- ・今の水道でもやっていることが、やっていないことなのか、違うことをしていくのか等表現に工夫が必要である。
- ・水道も自らの政策などに関してもっと宣伝活動を行うことが重要である。
- ・官側が、もっと積極的に研究開発を進めるような事項を盛り込んでどうか。
- ・水道事業者としては、豊富に水を使ってもらうことを希望している。
- ・例えば政策と評価のマトリックス表示のように、政策ツールの組み合わせの具体化が重要である。

#### (4) その他

- ・次回検討会は、1月下旬～2月上旬、ビジョン案を審議する。